

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとちかいりょう

土地改良



VOL. 523

2023
1.16 [Mon]

イメージキャラクター
みどりちゃん

謹賀新年



「祈願」 撮影者/渡邊 巖

表紙の写真は、第18回「美しく豊かな農村づくり」写真コンクールにおいて入賞された作品です。秋田市の大平山三吉神社総本宮では、五穀豊穡や家内安全など祈願して梵天を奉納する「三吉梵天祭」が行われます。今年は数年ぶりに一般客の見学もできるそうです。

2023年は、今までよりも活気に満ちた1年になりますようお願いいたします。

目次

CONTENTS

新年挨拶		令和4年度土地改良関係団体役員講習会	10
・ 本会会長【高貝久遠】	2	第44回全国土地改良大会沖縄大会	10
・ 秋田県知事【佐竹敬久】	3	「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2022」審査結果について	11
・ 全国土地改良事業団体連合会会長【二階俊博】	4	会員だより	11
・ 全国水土里ネット会長会議顧問、参議院議員【進藤金日子】	5	連合会日誌	11
・ 全国水土里ネット会長会議顧問、参議院議員【宮崎雅夫】	6	謹賀新年（新年挨拶）	12
農地集積加速化基盤整備事業「平根地区」（由利本荘市）のご紹介！	7	第65回通常総会開催予定	12
令和5年度農業農村整備事業関係予算	8	編集後記	12

新年のごあいさつ



秋田県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット秋田)

会長 高貝 久遠

明けましておめでとうございます。

皆様には、御家族おそろいで、お健やかに初春をお迎えになったことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より農業農村整備事業の推進に多大なる御尽力をいただきとともに、本会の運営に特段の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、去年は6月上旬の低温や日照不足に加え、過去の大雨被害でも最大規模となる豪雨災害が発生し、水稻の作柄は4年ぶりの「やや不良」となりました。さらにウクライナ紛争などの影響により、電力料金や肥料などの生産資材が急激に高騰するなど、

生産者にとって厳しい1年でありました。

このように、近年は、大規模自然災害に加え、食料供給に影響を及ぼす様々なリスクが国内外で発生しています。こうした情勢のなか、国内の食料安全保障を確立するためには、農業が成長産業として持続的に発展し、食料等の農産物の安定供給という役割を果たしていかなければなりません。

そのためには、担い手の育成・確保を進め、担い手への農地の集積・集約化を推進するとともに、農業生産基盤の整備を効果的に実施することにより、生産体制と生産基盤の強化を図ることが重要であります。

水土里ネットは、農業農村整備事業の推進母体として、盤石な運営体制のもとで、農地の大区画化や汎用・畑地化、スマート農業に対応した基盤整備のほか、農業水利施設の保全管理、ICT等を活用した水管理などを積極的に推進し、国内外の情勢の変化に負けない「強い農業・農村」を実現していく必要があります。

事業実施に必要な国の農業農村整備関係予算については、令和5年度当初予算案は4,457億円で閣議決定していただき、令和4年度補正予算と合わせると6,134億円となり、各地域において計画どおりに事業実施できる予算額が確保される見込みです。今後とも、計画的に事業を実施するために、安定した予算確保に向けて、水土里ネットの組織を挙げて積極的に要請活動を展開してまいりますので、引き続き皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

水土里ネット秋田は、農業農村整備事業の調査・計画から完成まで総合的にサポートし、本県の農業・農村の持続的発展の一翼を担うために、役職員一同、全力で業務に取り組んでまいりますので、皆様には、なお一層の御支援と御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、穏やかで、希望に満ちた幸多い年となりますように、心から御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



秋田県知事
佐竹 敬久

明けましておめでとうございます。

水土里ネット秋田の会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月に県北地域を中心に記録的な大雨に見舞われ、農地・農業用施設においても甚大な被害が発生したところであります。

被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、県としましても、春からの営農に支障を来さないよう、復旧に向けて全力で支援するとともに、農業水利施設の長寿命化対策や、ため池の豪雨・耐震化対策について、ソフト・ハードの両面から推進し、県土の強靱化により一層努めてまいります。

さて、農業を取り巻く情勢は、労働力不足や担い手の高齢化、ICT等による急速な技術革新、さらには、国際情勢の緊迫化に伴う原油価格や物価の高騰、コロナ渦によるライフスタイルの変化など、急速な時代の流れの中で大きく変化しております。

こうした喫緊の課題にいち早く対応するため、肥料・生産資材等の高騰対策や、電力料金高騰の影響を受けている土地改良区に対する支援など、県では新たな事業を創設し、農業者に寄り添った対策を講じているところであります。

また、4月からスタートした「新秋田元気創造プラン」では、食料安全保障の観点から「農業の食料供給力の強化」を目指す姿として掲げたところであり、複合型生産構造への転換を図ることはもとより、我が国の食料供給基地としての役割を果たすためにも、水田の大区画化やスマート農業に対応した「あきた型ほ場整備」を重点的に実施し、持続可能で効率的な生産体制を構築することにしております。

さらに、基幹となる米については、食味にこだわり9年の歳月をかけて開発した新品種「サキホコレ」が10月に全国一斉でデビューを迎え、大変に好評を博しているところでありますので、「サキホコレ」をフラッグシップに、今後とも秋田米全体の戦略的な生産・販売を推進してまいります。

加えて、農山村の活性化対策として、地域の魅力を活かした新ビジネスの創出や、多様な人材が参画しての地域活性化を図り、笑顔でいきいきと住み続けることの出来る農村地域の実現を目指してまいります。

こうした取組を通じて、本県農業が持続可能な成長産業として発展できるよう、私自身が先頭に立ち、引き続き農業農村整備事業を力強く推進してまいりますので、水土里ネット秋田の会員の皆様におかれましても、より一層のご支援・ご尽力をお願いいたします。

結びに、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、世界に安寧が訪れることを願いますとともに、新しい年が皆様にとって実り豊かで、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

新年にあたって



全国土地改良事業団体連合会

会長 二階 俊博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶といたします。